

2025年8月末現在  
組合員 4,347人  
出資金 1億6,799万円  
7～8月の動き  
組合員 新規加入17人  
脱退11人



第148号  
2025年9月10日発行  
(奇数月発行)  
〒503-0982 大垣市久徳町153-1  
TEL 0584-92-3268  
ホームページ seinou.coop  
編集 機関紙編集委員会

被爆・戦後80年の夏

### 平和への願い 戦争体験を語り継ぐ

紙芝居「命の選択く私の歩いた道」上演会

中央支部・不破支部が開催。2会場で90人以上が参加

7月20日に大垣中央支部がしずさと診療所待合室で、8月6日には不破支部がワイワイプラザ垂井で開催しました。



診療所待合室で、熱演される若林まり子さん

満州からの引き揚げ体験がまとめられた紙芝居「命の選択く私の歩いた道」は、池田町にお住まいの北村栄美さんが満蒙開拓団実体験の語り部として語り継いでこられた内容を紙芝居にしたもの。この2会場に北村さんご本人も参加され、「満蒙開拓団は被害者ではあるが、加害の歴史でもあることを忘れてはいけない」と、語り継ぐ大切さを訴えられました。  
(本紙2面に関連記事)

### 今年の健康まつりは

10月5日(日) 10時～15時

介護センター・しずさと診療所で開催

本紙折り込みチラシをご覧ください

### せいりゅう

今年には戦後80年。戦後70年の際に、吉永小百合さんは「戦後何年という言い方がいつまでも続いてほしい」と語られたこと、タモリさんが

2022年末の「徹子の部屋」で、司会の黒柳徹子さんから来年はどんな年になりましかと尋ねられ「新しい戦前になるんじゃないですかね」と答えられたことが私には忘れられません▼時代背景には、2014年に集団的自衛権の行使容認が閣議決定されたこと、その翌年には安保法制が強行成立されたことがあ

るのではないのでしょうか。そのことにより「敵基地攻撃」能力を有する長射程ミサイルの配備、沖縄南西諸島へのミサイル配備・自衛隊増強など、平和外交から抑止力強化の動きが強まっているように思います。長年日本の防衛費はGDP比1%以内に抑えられてきましたが、2025年度は8.8兆円となりGDP比1.8%へと数年の間に2倍近くに急増しています。さらに、「後年度負担」といわれる後払いの総額が16兆円超にも膨れ上がっており、今後増額し続ける事態になります▼核兵器廃絶運動では、日本原水爆被害者団体協議会がノーベル平和賞を受賞しました。国連で採決された核兵器禁止条約を批准する国が73か国に広がっていますが、唯一の被爆国である日本は未だに批准していません。今、全岐阜県生協連が事務局団体になっている「被爆者の願いを継承する岐阜県民の会」が取り扱う「すべての国に核兵器禁止条約の批准を求める署名」に取り組んでいます。引き続きご協力をお願いします▼日本国憲法はその前文において「政府の行為によつて再び戦争の惨禍が起ることのないやうにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し」とあります。医療生協の理念の一つ「平和をつくる」は憲法で宣言された内容そのものであるとあらためて実感しています。

組合員活動部長 松岡和彦

「命の選択く私の歩いた道」

平和について考える紙芝居上演会

大垣中央支部は、7月20日しずさと診療所待合室にて、満蒙開拓記念館ボランティアグループ・ピースLaboの若林まり子さんの熱のこもった語りによる紙芝居を鑑賞しました。

国は全都道府県から27万人を満州に開拓団として送り込み、北村栄美さん(池田町在住)一家も1941年故郷長野県大鹿村から満州三江省太古洞に入植。現地は山裾の原野で開拓・開墾

する生活でしたが、怪我をしてる父親にも「根こそぎ動員」で召集令状。

1945年8月17日、日本の敗戦の知らせが太古洞開拓団に届いた。ソ連侵攻が始まり、ハルピンまで徒歩で移動しそこで収容所生活を送り、1946年10月に栄美さんは兄と二人で帰国(母・妹・弟の帰国は1953年、父はシベリア抑留後朝鮮にて死亡)。

40名の参加者の中にはその過酷な運命に涙を流す人もありました。最後に栄美さんは「満蒙開拓団は被害者ではあるが、加害の歴史でもあることを忘れてはいけない」と結ばれました。

大橋保子

不破支部は、8月6日ワイワイプラザ垂井で「命の選択く私の歩いた道」という満州からの引き揚げ体験をまとめられた紙芝居を上演しました。会場は椅子が足りなくなるほどで、小学生から高齢の方まで50人以上の



方が来られていました。

今年は昭和100年、戦後80年の節目の年です。戦争体験者が高齢になられ、話を聞く機会がずいぶん減った中、貴重な経験になると思い参加させていただきました。

満蒙開拓団がこんなに大変な生活だったとは。特に栄美さんのお母さんが幾度となく苦渋の選択をしなければならなかった場面では、どんなに苦しかったことか、今、91歳の栄美さんの元気なお姿とお話にさらに胸がいっぱいになり、涙が出ました。10年ほど前に、私が音楽療法

吉田健次理事のご逝去を悼んで

西濃医療生活協同組合 理事長 木村隆之



2025年8月1日、吉田健次理事が逝去されました。今年6月頃から体調をくずされ、通院されていましたが、8月1日に帰らぬ人となってしまいました。まだまだ若く、さらなる活躍を期待していましたが、あまりにも急な旅立ちに未だに受けとめられない思いです。まことに残念の極みです。

吉田健次さんは、2016年から今日に至るまでの9年間、西濃医療生協の理事として大垣北支部を担当、また組織委員を

務めてこられました。班づくりなどを通じて、組合員や地域のつながりを広げられ、支部の活性化にも尽力されました。組合員活動のまとめ役としてなくてはならない存在でした。西濃医療生協の発展のために多大な貢献をされました。

8月2日の通夜と、その後のお別れ会には、支部運営委員や班会参加者の方々が多数参加され、誰からも慕われたお人柄が、改めて憶われました。

吉田健次さんの長年にわたる地域の健康、民主主義、そして平和への貢献に、多大なる敬意を表するとともに、ご冥福をお祈りいたします。

士の仕事で高齢者施設に伺ったとき、戦争にまつわる歌を「いろいろな思いで歌った」と話された満州引き揚げ体験の男性を思い出しました。

今も世界では戦争が起き、日本では殺人事件などずさんでいまず。戦争のない穏やかで平和な世の中でありませうと願

わずにはいられません。生かされている、人の温かさ、日々の暮らしのありがたさに改めて感謝しなければと思いを。命について、人としての生き方を今後も問い続けながら、私なりにできる伝え方、関わり方をしていきたいと思えます。

渡辺登喜子

**不破支部**

**広島平和ツアー**

8月28・29日に、12名で猛暑の中、広島平和ツアーを実施しました。

28日は国宝で世界文化遺産にも認定された広島神社を訪れました。無念のうちに亡くなった多くの命と向き合うことを考えると、海に浮かぶ朱塗りの鳥居の荘厳さはいっそう胸に迫るものがありました。

29日広島平和記念資料館にて、4歳7か月で被爆された伊藤正雄さんのお話を伺いました。あの日の朝、伊藤さんは外で三輪車に乗って遊んでいました。爆心地から離れてはいましたが爆



風で飛ばされ、何が起きたか分からなかったそうです。家の中はガラスが粉々に散っていて危険なので防空壕に避難しました。幼かった伊藤さんにとって一番強烈な記憶は公園で多くの遺体を焼く臭いだったそうで、今でもときどきよみがえるとつらそうに話されました。

成人して肺結核を患い、入院生活を送っていた時、アメリカから特効薬のストレプトマイシンと聖書が伊藤さんの元に届きました。この二つのもので伊藤さんは心身に救われ、洗礼も受けました。その後、岩国基地の米兵が資料館を訪れ、展示品を見て涙する場面を見て「につつきアメリカ」という思いが変わっていったと話されました。今はピースボランティアとして活動し、ピースボートで海外にも行き、被爆者として体験を伝えています。

展示室は原爆の実相を伝えるショッキングな展示品が並び多くの外国人であふれていました。被団協のノーベル平和賞受賞の影響か、日本人より多くの方が来られていることにも驚きました。

その後、ボランティアガイドさんの案内で美しく広大な平和記念公園を回り、植輪型の慰霊碑、さだ子さんで有名な原爆の子の像、14万枚のタイルが貼られた部屋がある追悼平和祈念館、365日24時間燃え続ける平和の灯、原爆ドームなどを説明を聞きながら見ました。アーチ形の慰霊碑の中に原爆ドームがすっぽり入って見えるように設計されていて、その写真を撮るため多くの方が並んでいました。

4千度から6千度の高温で一瞬にして焼かれてしまった何万人もの大事な命。後遺症に苦しみながらも生きながらえた人たちが、戦争がいかに残酷なものか、改めて思い知らされた広島でした。一度始めてしまつと終わらせることができない愚かな戦争。だから絶対始めたいいけないのだと被爆2世のガイドさんは語気を強めて言われました。

山河由美子

**しずさと診療所**

**インフルエンザ・**

**新型コロナ予防接種について**

**■ インフルエンザ予防接種**

インフルエンザ予防接種外来を今年も開設（予約制）します。開設時期は10月中旬から12月初旬までを予定しております。例年通り電話、インターネットでの予約をお願いします。

なお、しずさと診療所を定期受診されている方は例年通り外来診療時に接種できます。

公費接種は10月1日～来年1月31日までです。

**■ 新型コロナ予防接種**

新型コロナウイルスについては、5類に分類された昨年から予防接種が有料になりました。今年度は国の補助がなくなったことにより昨年より自己負担が引き上げられました（大垣市の場合は4,700円に）。

公費接種は10月1日～来年3月31日までです。

[市町村からの実施方法等の通知が届いていない](#)

め、両接種の詳細が分かり次第、後日はがきにてご案内いたしますのでもうしばらくお待ちください。

**■ 帯状疱疹ワクチン**

2025年度から2029年度の5年間については、年度内に65歳になる方および5歳年齢ごと（70、75、80、85、90、95、100歳）の方が対象で公費接種が受けられます。※今年度に限っては、100歳以上の方は全員対象となります。

対象者にはお住まいの市町村から接種案内が郵送されます。ワクチンは2種類あり（接種回数、金額に違いがあります）どちらを接種するかはご相談ください。

**■ 肺炎球菌ワクチン**

公費接種対象者は65歳の方のみです。対象の方には65歳の誕生日の翌月にお住まいの市町村から接種案内が郵送されます。なお接種期間は案内が郵送されてから66歳の誕生日の前日までとなっていますのでご注意ください。



### 赤坂支部 健康サロン

#### 音楽療法

7月17日開催した健康サロンは18人の参加で、かねてから希望が多かった「音楽で脳を活性化しよう」というテーマで音楽療法を行いました。音楽にはストレスを軽減しドーパミンの分泌を促す効果があります。意欲の向上や認知機能の改善など、脳に良い影響を与えることが科学的に証明されているとのこと。講師の高木さんと渡辺さん

のリードで、みんなで楽器をもってチームに分かれて音を出したり歌ったり。また、今まで聞いたこともないトーンチャイムやオーシャンドラムなどの楽器や効果音を出しての演奏など楽しく、みなさん笑顔であっとい間に終わってしまいました。途中の休憩も忘れて…。

90代の人や初参加の人もあり有意義なサロンになりました。

宇津時雄

### 岐阜民医連共同組織連絡会

#### 健康づくり、地域福祉の拡充、平和を守る運動を交流

岐阜健康友の会、高齢者施設をつくる会、西濃医療生協の3団体で構成する共同組織連絡会は、7月25日大垣市西部研修センターにおいて、各団体から活動発表を行い、質疑応答、意見交換など交流しました。全体で20人が参加しました。

PFAS汚染水問題の取り組み、みどり病院新築移転や「9条の碑」建立などの報告。高齢者施設をつくる会からは、定期的に開催している上映活動や特養あんきの家でのボランティア活動などの報告、医療生協からは、地域での健康づくり班会や支部活動の取り組みなど報告しました。

このほか、仲間ふやしを中心とする「秋の強化月間」や医療・介護保険制度の改善運動などの取り組みについて、意見交換を行いました。

### 岐阜民医連共同組織とは

岐阜民医連（民主医療機関連合会）に関わる住民組織で、西濃医療生協もその一員です。他には、みどり病院はじめ多くの事業所を運営する岐阜勤労者医療協会と共同する岐阜健康友の会、特別養護老人ホームあんきの家など介護事業を運営するみどり福祉会と共同する高齢者施設をつくる会が連絡会に加わっています。

活動の交流を図りながら、健康づくりや医療・介護の改善運動、平和活動などに取り組んでいます。

### NPO西濃たすけあい

#### 第4回通常総会を開催

7月26日、組合員活動会議室において、15人が参加し通常総会を開催しました。西濃医療生協が、たすけあい活動の分野をNPO化し「西濃たすけあい」を発足してから4年が経過しました。主な活動は、日常生活支援（病院内や買い物付添、部屋や庭の掃除など）と、介護や障がい認定のある方を対象に行なう福祉有償運送です。

#### 2024年度の実績

生活支援の利用者63人、担い手23人、年間の依頼件数は

465件で前年比20%増でした。

福祉有償運送の利用者137人、担い手16人、年間の送迎回数は4079回で前年度50%増になりました。

財政状況は、利用料収入394万円（前年比45%増）、活動手当274万円、車両関係費150万円など事業費用が456万円でした。事業外での入会金・寄付金52万円の収入により、経常収支は▲10万円でした。

有償ボランティアを常時募集しています。

問合せ 事務局

08036453268

### 上映会「医の倫理と戦争」を開催

8月30日、宇留生地区センターで「医の倫理と戦争」を上映し23人が参加しました。



これは、岐阜民医連が視聴の普及を進めているドキュメンタリー映画です。内容は、第二次世界大戦における医療関係者による戦争犯罪への加担について、人体実験を繰り返した「731部隊」の事実を追いながら、現在の医療現場が抱えるさまざまな問題に取り組む医療関係者の今に迫っています。

DVDで視聴できますので貸し出します。問合せは組合員活動部・松岡まで  
電話 090-1989-4254

### 大垣中央支部 健康講座

「人生会議」してみませんか

5月15日、例年支部総会の前に実施する健康講座を、今年は大垣市出前講座にお願いしました。講師は市民病院呼吸器内科の中島治典先生でし



た。先生はじめスタッフの方々

は私たちが行っている健康

チェックに興味を持たれ、

特に足指力検査は先生自ら

実施されて「これは何のため

に？」と質問されたので、係

の運営委員が説明すると「へ

え、そつなですか」と感心

される場面もありました。

さて「人生会議」というと

皆さんはどんなことを思い浮

かれますか？

先生は「今朝は何を食べま

したか？それを決めたのは誰

ですか？どうしてですか？」

という質問から始められ、生

きていくということとは人生の

場面場面で「したいこと」

「したくないこと」を自分自

身が「選択」してきたはずだ

を実施しました。

当日はリハビリテーショ

ン科の職員15名としずさと

ショートステイからも2名

が参加しました。講習は、

訪問先や事業所などで実際

に起こりうる緊急事態を想

定した内容であり、全員が

真剣な面持ちで参加しまし

た。胸骨圧迫やAEDの使

用方法など人形を使用して

と言われました。

人生会議 (ACP) とは、

A = Advance (あらかじめ)

C = Care (医療・看護・介

護) P = Planning (計画を

たてる) ① CareをLife

(人生・生活・命) に置き換

えた日本語訳です。

じゃあ人生会議ってどうや

るの？

「もしバナゲーム」という

カードを使って実践します。

もし、治療困難な病気であ

半年から1年の命と言われた

ら「あなたは何を大切にした

いですか？」という設定の4

人一組のゲームです。講師の

中島先生はじめ人生会議部

会のスタッフの方々も入って

いただいて、手元に残った5

枚のカードから大切なカード

3枚を選ぶという楽しくもシ

ビアな人生選択をし、最後に

何故その選択をしたかをグル

ープのメンバーに伝えます。そ

れは、信頼できる人や医療・

ケアチームと話し合い、「わ

たしの想い」を共有すること

の大切さに気付かせてくれま

す。

ゲーム後、中島先生は「心

身の状態に応じて意思は変化

するため、何度でも繰り返し

考え話し合います」と締め

くくられました。私たちに

とって初めての有意義な「人

生会議」でした。皆さんの支

部でもぜひ取り組まれること

をお勧めします。

松岡恵子

行い、体で覚えることの

重要性を改めて感じまし

た。

利用者様の命と安全を

守るために、日々のリハ

ビリテーション業務に加

えて緊急時に冷静かつ迅

速に対応できるように対

応力の向上・定期的な知

識のアップデートを今後

も行っていく予定です。



### 宇留生支部 防災講座

テーマ 「水・電気が来ない！あなたならどうする」

3度の大きな地震を経験された講師から震災を生き抜く知恵を学び、命を守る防災を考えます。

講師 小笠原勉さん・恵知子さん  
(大垣市出前講座市民講師)

日にち 9月24日(水) 9時30分~12時

場所 宇留生地区センター

参加費 無料

問合せ先 堀 090-7314-2505 宮川 090-7954-3423

### 健康委員会

### スクエアステップ体験 & 交流会

日にち 10月9日(木) 14時~15時30分

場所 池田町中央公民館1階 第一研修室

\*飲み物をお持ちください

\*運動のできる服装と靴(土足で行ないます)

問合せ先 医療生協組合員活動部

TEL 0594-92-3268 FAX 0584-93-1169

※詳しくは本紙折込みのチラシをご覧ください。

第30回西濃ピースフェスティバル

平和の願いを次の世代に繋げるために

1994年〜2025年

7月26・27日に大垣市スイ  
トピアセンター3階で30回目  
の「西濃ピースフェスティバ  
ル」を開催。両日で、例年を  
はるかに上回る300人以上  
が来場しました。

原爆パネル30点と高校生が  
描いた「原爆の絵」の数々、  
被曝稲の生育パネル、「大垣  
空襲の劇画」、国民平和大行  
進の県内通し行進6日間の報  
告などを展示しました。折り  
鶴コーナーでは、コープぎふ  
有志が千羽鶴の糸通し作業を  
しました。

27日午前の「子どもとおと  
なの平和広場」には、幅広い  
年齢の方々100人近くが集  
いました。平和の歌、被爆体  
験のお話、被爆2世の方から



の思いが語られました。昨年、  
日本被団協がノーベル平和賞  
を受賞されたことから関心  
の広がりを感じました。

今年の開催にあたり、実行  
委員会は3月からスタート、  
当日までに5回の会議を持ち、  
企画内容や宣伝などの打ち合  
せを行なってきました。医療  
生協は勿論のこと、コープぎ  
ふから大きな協力をいただき  
ました。お知らせチラシを1  
万8千枚印刷し、市内の小・  
中学校にも直接届けました。

その取り組みの中で学校内で  
ミニ原爆展が実施され、多く  
の子どもたちから感想が寄せ  
られました。

原爆展当日に寄せられた51  
人（小学生、中学生やお母さ  
らなど）からの感想の一部を  
紹介します。

\*げんばくというのは、とて  
もおそろしいものということ  
が分かった。被ばくした人の  
ためにも一生けんめい悔いの  
ないようにいきいきしたい

(小6)

\*戦争が遠いものとなった日  
本ですが、今世界の中では戦  
争が起きています。これから  
の未来をつくる子ども達には  
二度とあってはいけないとい  
う思いを伝えたくて中1の娘  
を連れてきました。じっと写  
真や絵を見つめる娘が少しで  
もそんな思いになってくれた  
ように見え、このような企画  
展をして下さったことに感謝  
いたします(母)

\*今まで知らなかったことが  
色々知れた。焼き場の少年の  
目がすごいと思った。自分の  
大事な弟を目の前で火葬して  
くださいなんて僕だったら絶  
対に言えないのに、少年は覚  
悟の出来た真っすぐな目をし  
て直立不動の姿勢でいられる  
のがなんとも言えない気持ち  
になった(中2)

\*僕はこれからも戦争、原爆  
の悲惨なことを伝えていって  
ほしいと思いました。そして  
自分も、これから生まれてく  
る人に向けて伝えていけたら  
良いなと思いました。本など  
を読み、戦争・原爆について  
より詳しく学んでいきたいと  
思いました(高一)

実行委員 小林敬子

読者の声

「究極の健康法」

一番は人と人とのつながり  
100歳の方100人に、  
どう生活し、どう考えてい  
るのか取材・調査したテレ  
ビ報道がありました。

健康の秘訣について、食  
生活は野菜や豆類など、炎  
症・老化を抑える植物繊維  
を摂ること。運動について  
は、炊事・洗濯・草取りな  
ど家事による「ちよい活」  
が大事で、チリも積もれば  
山となる。特別な運動習慣  
がなくても、十分な運動量  
になるとのことです。

よく見るテレビ番組は、  
相撲に続きニュースとの答  
え。誰かと話したいから見  
るとのこと意外でした。  
今まで生きてきて一番うれ  
しかったことは戦争が終わ  
ったこと、家族や仕事に関す  
ることと続いた。

高齢について専門に研究  
する医師が半世紀にわたり  
「究極の健康法」を調査、  
分析したところ、寿命に影

響を与える生活習慣のリス  
克蘭キングでは、肥満、  
運動不足、タバコ、酒より  
も、一番は人と人との「つ  
ながりがないこと」でした。

兄弟の数、血液型、甘辛党  
などすべての可能性からみ  
ても大切なのは「つながり」  
だった。人々がつながりを  
増やせば体内の炎症を抑え  
られる。それは人類があら  
ゆる動物の中で最も社会的  
な生き物だからだと。進化  
の歴史の中で、弱い人間は  
協力し合い大きな動物を倒  
し食糧にしてきた歴史があ  
り、私たちの体の機能も誰  
かとのつながりを持つとき  
最も良く働くように進化し  
てきたのです。

「つながり」を持つこと  
は健康長寿に絶対に欠かせ  
ないことなのです。私たち  
医療生協の支部活動、班活  
動がまさしく人と人との  
「つながり」なのです。健  
康長寿をめざしてこの「つ  
ながり」を大切に支部・班  
活動を広めていきましょ

宇津時雄

被爆・戦後80年記念 講演会

核兵器のない世界を築くために  
～「核抑止」では平和は守られない～

日時 10月11日(土)  
14時～15時30分(会場13時30分)  
会場 ぎふメディアコスモス みんなのホール  
(岐阜市司町40-5)  
講師 川崎 哲氏 ピースボート共同代表  
参加費 無料

<お申込み方法>

- ・右のQRコードから申し込みください  
または
- ・「10/11記念講演会申込み」と名前・電話番号を  
記載し、FAX番号058-370-6860へ送信ください



主催：被爆者の願いを継承する岐阜県民の会  
全岐阜県生活協同組合  
TEL 058-370-6867 (月～金 9時～17時)  
後援：日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)  
岐阜県原爆被害者の会(岐朋会)

一緒に働く仲間をご紹介いただけませんか？

- ◎医師 在宅医療に関心のある医師
  - ◎訪問看護師 常勤または非常勤
  - ◎理学療法士 作業療法士 言語聴覚士  
・いずれも非常勤
  - ◎居宅介護支援専門員 常勤
  - ◎介護福祉士・介護士  
・デイサービス：非常勤
- 詳細は本部 中村まで  
電話 0584-92-3268

新入職員紹介

しずさとショートステイ

なかがわ いくえ  
介護士 中川 郁恵



7月からショートステイに入職しました。皆様のお役に立てるよう頑張っていきたいと思っております。よろしくお願ひ致します。

ウォーキング

日にち 9月15日(月) 雨天9月22日(月)  
行き先 多良峡(上石津町)  
上石津ポケットパーク(駐車場)から牧田川にそって緑豊かな山道をウォーキング。多良峡林間広場にある吊り橋を渡って牧田川の河原へ降り緑陰で昼食をとります  
集合場所・時間 しずさと診療所 8:30  
持ち物 弁当、水筒、雨具、運動靴  
会費 200円+交通費300円

日にち 10月13日(月) 雨天10月27日(月)  
行き先 今須宿(関ヶ原町)  
不破の関資料館から中山道をウォーキングし今須宿を訪問。途中、常磐御前(源義経の母)の墓に寄り妙應寺、問屋場跡、車返しの坂、寝物語の里などを訪ねます  
集合場所・時間 しずさと診療所 8:30  
持ち物 弁当、水筒、雨具、運動靴  
会費 200円+交通費300円

問合せ 杉野茂樹 080-9832-3399  
梅村民雄 090-4232-9057

グラウンドゴルフで楽しく健康づくり

日にち・開始時間  
9月12日(金)10:20開始 17日(水)10:20開始  
以下の開始時間は12:30  
9月24日(水)  
10月1日(水) 7日(火) 10日(金) 22日(水)  
30日(木) ※10日(金)は四日市ゆうゆうで開催  
11月5日(水)  
場所 三城公園 ソフトボール場  
問合せ・申込先 河村秀一 090-5450-3227

山楽会

日にち 10月20日(月) 雨天中止  
行き先 多度山(桑名市多度町・最高点450m)  
「上げ馬神事」で知られる多度大社の前から登ります。展望スポットから木曾三川、濃尾平野を一望できます  
健脚度 中級程度(累計標高差570m)  
集合場所・時間 しずさと診療所 7:30  
持ち物 弁当、お茶、帽子、雨具、杖、登山靴  
会費 200円+交通費400円

問合せ 梅村民雄 090-4232-9057  
杉野茂樹 080-9832-3399

※日程は変更する場合があります。詳細は、問合せ先までお尋ねください。

**無料** **生活相談**

多重債務(破産・再生・任意整理)、離婚・親権・遺産相続、交通事故、労働災害、医療事故、消費者被害、損害賠償など。提携弁護士がご相談をお受けします。

日にち：10月9日(木) 11月13日(木)  
場 所：しずさと診療所内

○相談時間：午後2時～3時 ※1件あたり30分  
○事前申込みが必要です。本部 0584-92-3268

**健康委員会**

**テーマ「お口の衰えについて考えよう」**

講 師 大垣市保健センター歯科衛生士  
日にち 9月22日(月) 13時30分～15時  
場 所 組合員活動会議室  
問合先 齋藤 090-4860-4505  
※詳しくは本紙折込みのチラシをご覧ください。

**テーマ「食べて元気にフレイル予防」**

講 師 大垣市保健センター栄養士  
日にち 11月17日(月) 13時30分～15時  
場 所 組合員活動会議室  
※詳しくは、11月号本紙に折込みます。

**大垣西支部 楽しく広場 健康講座**

**テーマ「老いを受け止め日々を楽しむ」**  
講 師 長谷川 賢治先生(理学療法士・鍼灸師)  
日にち 9月20日(土) 13時30分～15時  
場 所 組合員活動会議室  
長谷川先生の健康講座は7年間続けていただきましたが、今回が最後になります。  
ぜひお出かけください。  
問合先 齋藤 090-4860-4505

**赤坂支部 健康サロン**

**寄 席「落語で笑い みんなで楽しみましょう」**  
演 者 夢乃屋馬笑(早崎静香さん)  
日にち 9月18日(木) 10時～11時30分  
場 所 青墓地区センター  
どなたでも参加できます。  
当日、会場にお越しください。  
問合先 宇津 91-2379 玉井 91-7422 高瀬 71-4409

**診療所・介護事業所の草取りボラに  
皆さまのご協力お願いします**

日にち \* 9月28日(日) 雨天の場合10月12日(日)  
\* 10月26日(日) 雨天の場合11月2日(日)  
※集合時間は午前7時  
集合場所 しずさと診療所  
問合先 正岡礼子 0584-27-5957

**しずさと診療所 診療案内**  
内科・外科・整形外科・リハビリテーション科

		月	火	水	木	金	土
8～9時	検査	柄澤	柄澤	—	柄澤	柄澤	—
9～12時	第1診	柄澤	柄澤	柄澤	柄澤	阿川	※3
	第2診	塩澤	阿川	粕谷	※1	粕谷	—
	第3診	—	—	—	—	※2	—
14～17時	訪問診療	柄澤 塩澤	柄澤	柄澤 粕谷	柄澤	柄澤	
17～19時	第1診	塩澤		泉		柄澤	

**※1 木曜日第2診の診察**

第1・第3・第5木曜は西尾医師が担当します。  
第2・第4木曜は岡野医師が担当します。

**※2 金曜日の第3診察室**

柄澤医師が検査(胃カメラ・エコー)を行います。

**※3 土曜日の診察**

第1・第3土曜は柄澤医師が担当します。  
第2土曜は松井医師が担当します。  
第4・第5土曜は小林医師が担当します。

**エコー検査・栄養指導のご案内**

検査技師による心・頸動脈エコー(毎週水曜日)  
管理栄養士による栄養指導(第2火曜・第4金曜)  
※診察時にご相談ください。

**<医療・介護のお問い合わせは>**

**▼しずさと診療所**

診療 電話 0584-93-1170 FAX 0584-93-1169  
リハビリ 電話 0584-93-1179 FAX 0584-93-0345  
〒503-0982 大垣市久徳町153-1

**▼デイサービスひのき**

電話 0584-93-0310 FAX 0584-93-0311  
〒503-0981 大垣市桜町706

**▼介護センターしずさと**

電話 0584-91-3912 FAX 0584-93-1151  
〒503-0981 大垣市桜町1452  
・介護支援センター 0584-93-1171  
・デイサービスセンター 0584-93-1172  
・訪問看護ステーション 0584-93-1173  
・ショートステイ 0584-93-1175

**▼しずさと介護支援センター不破事業所**

電話 0584-71-7311  
〒503-2100 不破郡垂井町地蔵1-105